

週刊文春「2017 頼れるドクターの先進治療』で当クリニックの住田憲是院長が紹介されました。

1月5日・12日号 新年特大号 (12月28日発売)

2017 頼れるドクターの先進治療 ■永久保存版

住田憲祐 副院長

すみた・かずひろ ●千葉県流山市、のぞみ整形外科・内科クリニック院長兼務。

従来の整形外科とは
異なる考え方で
痛みやシビレを治療

AKAとは「関節運動学的アプローチ」の英名の略語で、関節の動きを滑らかにすることで痛みやシビレを治す治療法だ。一般的に

狭窄症、ヘルニア、すべり症、変形性股・膝関節症、首肩のコリ等、難治性の整形外科の症状の治療を目指す AKA-博田法（以下、AKA）

レントゲンやMRIの発達により、脊柱管の狭窄やヘルニア、すべり症、軟骨のすり減り、といった異常は認知しやすくなつた。だが、手術でそれらの異常はなくなつても、肝心の痛みやシビレは残つてゐる、という人は多い。「整形外科的な痛みやシビレは何か他の原因があるのではないか」、長年疑問を感じつづけた住田院長が着目したのがAKAという手技療法だ。

仙腸関節のしくみ



仙腸関節は通常1~3ミリ動く。この動きが悪くなると、身体のアチコチに痛みやしびれを発症する。AKAは仙腸関節の動きを良くすることで、これらを治そうとする治療法。

望(のぞみ)クリニック
<http://www.nozomi-clinic-japan.com/>

診療時間▶9:00 ~ 13:00 /
14:00 ~ 18:00 (完全予約制)
休診▶日曜・月曜・祝祭日
料金▶(自費診療専門) 初診料 8,100円、治療費 12,960円、2回目以降 AKA-博田法治療 12,960円 (税込) ※詳細はHP参照。
所在地▶東京都豊島区雑司が谷2-4-1 地下1階
アクセス▶東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅3番出口2分。
電話▶03-3986-7889

望クリニック 検索

(※) 1992年1月~2016年10月末までのAKA博田法による治療。

昭和34年4月21日第三種郵便物認可 平成29年1月12日発行(木曜日発行) (12月28日発売) 第30巻第1号

週刊文春

1月5日・12日号 新年特大号 特別定価440円



はレン
トゲン
やMR
Iで異
常が写
るとそ
れが痛
みやシ
ビレの
原因と考える。それに対し、
AKAでは関節の動きの異常がこれらの原因と考える。
この点が従来の整形外科と異なる点だ。特に骨盤にある仙腸関節の動きの異常は、腰や股関節、膝、首肩のコリや痛み、手足のシビレに至るまで様々な症状を引き起こす。もちろん画像に

手術の前に
AKAという選択肢も
同院には脊柱管狭窄症、ヘルニア、すべり症、変形性関節症と診断された患者が数多く来院する。AKAは、手術を受けることに身體的負担が大きい高齢者でも、比較的負担が少ない治療ができるのが特徴だ。

「この様に長年悩まされて
いた痛みやシビレが改善し合もある。だが、それを見極めるためにもAKAが必要なのだという。実際の治療は、仙腸関節をはじめ背骨や手足の関節を、術者の手で一つずつ滑らかに動くようにしていく(イラスト参照)。

手術の前に、また手術を

しても治らなかつたからとあきらめる前にAKAという選択肢も考えられよう。

同院はAKAの専門医療機関として20年以上にわたり難治性の痛みやシビレを診療してきている。正確な診断、治療には高度な技量と経験が不可欠のこと。AKAを受診する際は熟練者を探すと良いだろう。

※個々の疾患については同院のホームページを参照されたい。

あるいは電話で問い合わせを。